

単元名 浮世絵はすごい(鑑賞)

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることができる。
- (2) 浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

11270201_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 浮世絵を鑑賞して、感じたことを話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の部分を原寸大で切り取ったものがどの浮世絵のどの部分かを探す。 <p>★作品の部分から、どのように制作されたものか考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正解を確認しながら、木版画の凸版技術で表現されていることに気付く。 <p>○浮世絵の制作工程や優れた技に触れる。</p> <p>○制作された当時の色合いを鑑賞し、感じたことを発表し合う。</p> <p>○他の浮世絵を味わう。</p> <p>○浮世絵の魅力について考える。</p> <p>○浮世絵を鑑賞して感じたことや考えたことを発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の「神奈川沖浪裏」の富士山や船の一部、人の部分を切り取った資料を作成して提示し、原寸大の作品の中から見付けさせる。 「凱風快晴」や「駿州江尻」などの部分の拡大を示すのもよい。 作品の部分を示しながら、木版画の技法を示し、浮世絵の技術の高さに気付かせる。 <p>【評】浮世絵の表現のよさや特性などに関心を持ち、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複製版の制作動画や資料を使って、浮世絵の下絵、彫り、摺りの工程の様子を示す。 摺りの工程から発展させて、「神奈川沖浪裏」のベロ藍の鮮やかさを感じ取らせ、ベロ藍が使われる歴史について触れる。 <p>※青の色について：植物由来の顔料は発色や色の定着に難があり、常に試行錯誤の繰り返しだった。水によく溶け、鮮やかな色を保ちながら濃淡で遠近感を表現しやすく、変色することがない舶来のプルシアン・ブルー（ベロ藍）が用いられることになった歴史などに触れる。</p> <p>【評】構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴に着目して、浮世絵の作風や作品の印象などを捉える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「雲母摺り」や「毛割」の技法になどに触れ教科書の他の作品も味わわせる。 浮世絵のモチーフや構図、作風などについて注目させながら作品の魅力を考えさせる。 <p>※発展的にジャポニスムなどに触れて浮世絵の魅力を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して浮世絵の表現のよさや美しさ、日本の美術文化への愛情や誇りなどについて感じたり考えたりした意見を交流させたい。 <p>【評】浮世絵としての表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、浮世絵は日本独特の美術作品で、優れた技術で制作され、また西洋の多くの画家たちに影響を与えるほどの魅力をもっている。この題材を通して日本の美術文化に愛情や誇りをもち、継承と創造についての考えを深めさせたい。しかし、中学生にとって浮世絵は、古く感じてどちらかといえばなじみがなく、すぐに興味をもてない作品ではないと思われる。そこで、導入では、作品の部分に注目させながら優れた技に気付かせ、展開では作品に表現されたモチーフや動き、色、作風などに視点を広げさせながら味わわせるなどして、生徒の興味や関心を引き付けながら展開していく工夫が必要である。